



川口市立在家中中学校 川口市大字安行領在家272番地  
048(295)4102 FAX 048(295)5661  
URL <http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/zaike-j/>



・心身ともにたくましい生徒  
・自ら進んで学ぶ生徒  
・豊かな情操を培う生徒

## 開校当時に想いを馳せる

校長 鈴木 玲

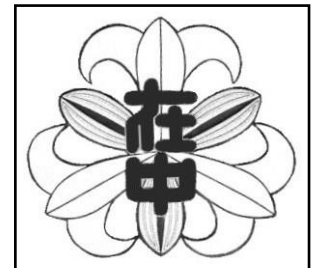
昭和58年4月に開校した在家中中学校は、今年度、開校40周年の節目を迎えます。コロナ禍ということもあり、日ごろお世話になっている地域の方々をご招待しての記念式典等を行うことはできませんが、今年一年は、生徒たちを中心に40周年を記念する祝事を行うことを計画しています。

本校の開校記念日は6月25日です。つまり、今年、人間でいう「かぞえ年」の40歳になった在家中中学校は今年、誕生日を迎えます。本校の歴史を記した沿革史を紐解くと、6月25日を開校記念日とした理由は「教室棟 本工事の着工日を記念した」との記述がありました。校舎の完成を表す「竣工日」ではなく工事に掛かる「着工日」であることから、当時、在家中の開校が決定して以来、地域の方々から寄せられる「新しい中学校」への期待がいかに大きかったかが推察できます。

私自身この春に在家中へ着任したこともあり、本校についていろいろと知っておかなければと、6月25日を前に開校当時のことを少し調べてみることにしました。

制服のデザインは当時も今も変わらないようです。男子の詰め襟、女子のセーラー服がまだまだ主流だった当時からすれば紺のブレザーに赤いネクタイはとても現代的です。新しい時代を担う人材を育成する学校の象徴にふさわしいデザインだったのでしょう。

校章は公募によって集まったデザインを基に、当時在籍された先生方と川口市教育委員会指導課の先生とで制作してくださったと聞いています。校章に描かれた市の花テッポウユリの花芯は学業の象徴としてペンを模しており、花卉と葉の広がりには発展を意味しています。テッポウユリの花が3つ組み合わせられているのは「健全 自主 敬愛」の3つの校訓と在家中中学校の「生徒 職員 保護者」の三者の和のそれぞれを表したものです。



開校当初はプレハブ校舎3棟15教室のみ。現在の教室棟が完成し、竣工式が行われたのは同年7月でした。生徒は2年生が6クラス266名、1年生が7クラス308名でスタートしています。北中学校、芝東中学校から分離してできた学校ですので、第1期生である2年生の集合写真を見ると、両校の制服が混在しています。不思議と統一感のなさは感じず、大袈裟な言い方かもしれませんが、むしろ、両校のプライドが自立しつつも融合しているように見えました。

その第1期生は昭和60年3月卒業。そのことで改めて気づいたのですが、第1期生と私は同学年。

しかも、私は中学3年の最後の大会で、在家中に敗れて部活を引退しているのです。私と在家中との間に何か不思議な縁を感じます。

私と同年代かそれ以降の年代であれば、在家中の草創期を築いてきた方々が今、保護者であったり、地域の中心的な役割を担っていたりと。

開校から40年。本校は今も地域・保護者の皆様から、開校当時のように期待していただけているでしょうか。



開校当時の教室棟とプレハブ校舎  
(第1期生の卒業アルバムより)